

行財政改革への提言

☆ 補助金制度の評価検証システム構築を提言→システム構築を約束！

補助金交付にあたり、交付先の財務状況に関する基準も無い上、40年にわたる長期間の交付も多く検証が必要！

☆ 財政調整基金を取り崩すことで成り立つ予算に警鐘。一定額は確保を！→検討

基金残高が少ないことで、市独自のコロナ対策も出来ず！年度途中の残高が1億円に満たない現状に警鐘。

☆ 公共施設マネジメントは本市最大のテーマ。体制強化を提言→必要に応じ検討

公共施設の6割は教育委員会部局の所管だが、廃止や複合化、統廃合の検討はまちづくりであり都市計画、教育の専門家に責任を負わすべきではないと指摘。

☆ ソフトウェアロボットによる業務の効率化(RPA)の導入を提言→実現

市民税課等の税業務において導入。コロナ対策の一環として国の財源で。

誰もが暮らしやすい社会実現に向けた提言

☆ ひとり親家庭等学習支援の事業拡大を提言！→実現

市「場所がない。」→公共施設での実施を実現することで事業拡大！

☆ 民間を活用したスポーツ教室の充実で高齢者の健康を応援！→検討

スポーツ教室は殆どが市直営。民間施設利用料を補助する方法等、民間を活用し教室の充実をと提言！

☆ すべての子どもたちが学校に行きやすい環境づくりを提言！→一部実現

多様な性の尊重を！水着はラッシュガード等の原則着用許可を提言→実現

☆ 外国籍児童への日本語指導の充実を提言！→一部実現

翻訳システムなどITCの活用で指導員不足を補うことを提言！



川越市議会議員倫理条例策定へ最終段階！

グリーンズ川越78号参照

市議会では、平成30年12月にハラスメントの防止と職場環境の改善、何より市民からの信頼に応えることを目的に、各会派の代表者と正副議長を構成メンバーとして「議員倫理条例策定会議」を設置しました。

私も代表者及び副議長として、本年1月までたくさんの会議を重ね、パブリックコメントを経て、先頃ようやく条例案がまとまりました。

今後、議会への上程の後条例案が議決された時、川越市議会にも議員倫理条例が誕生します。

条例策定により市民からの信頼が得られるわけではありませんが、今の市議会議員の決意の表れとして、これをきっかけに「市民に信頼される議会」を目指して参ります。

南古谷駅自由通路と整備事業

～ 基本設計終了！今後実施設計へ～

南古谷駅自由通路、北口開設等整備事業は、令和4年で基本設計が終わりました。工程としては、今後実施設計(2年程)に移り、その後、着工へと進んでいきます。

その過程において、市はより一層の工夫や経済的合理性のある計画を検討していくはずですが、議員としても、計画を精査し、皆様の声をしっかり届け、早期に多くの皆様に喜んで頂けるよう努めてまいります。



外観イメージパース(南口)

外観イメージパース(北口)

毎年恒例になった環境部主催の「古谷湿地さかな観察会」



子どもたちに五感で感じる体験を！

市内唯一の湿地で自然と触れ合い、生物の多様性と、人と自然との係わりなどを肌で感じる機会を作りたいと私が提言したイベントが、かわごえ環境ネットの皆さんにもお手伝いいただき、今や毎年恒例のイベントとなっています！



第82代副議長2021年6月～2022年6月

一年間、副議長を務めさせて頂きました。

